


## 交流プログラムの例

一例としてご紹介します。プログラムの時間や参加児童・生徒の人数・学年を考慮し、子供たちと研修員の相互交流・学びの機会となるようなプログラムが望ましいです。プログラムが児童・生徒による事前学習の成果発表にならないよう、ご注意ください。

研修員の母国語のあいさつや歌・遊びなどを学ぶ、ディスカッションをする等、児童・生徒と研修員がプログラムを通じて交流を深め自然に理解し合えるようなプログラム構成をお願いします。

### 導入の例

歓迎の挨拶	あらかじめ研修員の国や挨拶、国旗などを調べて掲示するのも良いかもしれません。
研修員自己紹介	研修員の名前を声に出して呼んでみましょう。
生徒自己紹介	ローマ字で名札をつけているとお互いに名前がわかりやすいですね。 

### プログラムの例

研修員の国紹介	研修員毎のグループにわかれて／あるいは全体で。
ディスカッション	お互いの国の文化についてテーマを決めて行う。 例：教育、結婚、家族
文化体験	書道や茶道体験。 お互いの国の音楽、ダンス等の紹介。 部活動の紹介、日本の歌や校歌の披露など。
給食・クッキング交流	給食を一緒に食べる他、地域のお料理やおむすびのような簡単(そう)なもの、日本のお菓子を一緒に作ってみるのも良いかもしれません。 (研修員の文化・宗教上、食べられないものがある場合がありますので事前にご相談ください。)
掃除	日本では学校の掃除を生徒たち自身でしていることを紹介するのも良いでしょう。
グループ遊び (日本の遊びや研修員の国の遊び)	日本の遊びの例：だるまさんがころんだ、けん玉、あやとり、折り紙、伝言ゲーム、じゃんけん、紙相撲、ハンカチ落とし 出来るだけみんなが参加出来るものだと良いですね。
クラブ活動	クラブ活動の紹介、参加。